

令和7年度入学 社会福祉学部 私費外国人留学生選抜 試験問題の出典

種別	大問番号	著者名	著作物名	書名等	版元
小論文	一	小坂 佳子	朝ドラ「虎に翼」から100年消えない女性たちの「はて？」の正体	2024年5月16日付， 〈 https://www.yomiuri.co.jp/otekomachi/20240515-OYT8T50019/ 〉より 一部改変	読売新聞 オンライン

社会福祉学部

小論文 (90分)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この冊子は、2ページあります。なお、下書き用紙が2枚あります。
3. 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合は、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
4. 解答は、必ず黒鉛筆（シャープペンシルも可）で記入し、ボールペンや万年筆などを使用してはいけません。
5. 解答用紙には、氏名及び受験票と同じ受験番号を忘れずに記入しなさい。
6. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
7. 下書きの必要があれば、下書き用紙を利用してかまいません。
8. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。(配点 100 点)

NHK で放送中の連続テレビ小説「虎に翼」を楽しみに見ている。ヒロイン・猪爪寅子(伊藤沙莉)のモデルは、日本初の女性弁護士となった三淵嘉子さん。NHK のパンフレットによると、「日本で初めて法曹界に飛び込んだ女性の奮闘を描くリーガルエンターテインメント」です。ドラマに合わせて、三淵さんが通っていた明治大学では、駿河台キャンパスにある博物館(東京都千代田区)で衣装やセットなどの展示が行われています。

「はて？」という寅子のセリフが、いつも小気味いい。「おいおい、それは違うだろ」「ちょっとまって、それおかしくない？」と突っ込みたくなる場面で、寅子がつぶやく。おかしいことをおかしいと言うことの大切さを改めて教えてくれているようで、励まされている気さえます。

ドラマでは、100 年前の女性たちには財産権も参政権もなく、妻は法的に「無能力者」とされていた状況が描かれます。世の中の“常識”に「おかしい」と声を上げ、司法で働く道を開き、社会を変えていく——。そんな女性たちが一步一步積み重ねた延長線上に、私たちは暮らしているのだと思うと胸が熱くなるのでした。

一般社団法人「あすには」代表理事の井田奈穂さんも、このドラマに気持ちを重ねている一人です。井田さん自身も、「はて？」と思ったことを放置せず、社会を変えるべく活動しています。それは、夫婦の姓の問題です。

日本は夫婦同姓です。1898 年(明治 31 年)施行の旧民法で導入されました。1948 年(昭和 23 年)施行の現行民法で家制度は廃止されましたが、姓のあり方はそのまま残りました。時代は下って 1985 年、日本も国連の女子差別撤廃条約を批准し、女性差別につながる法律の見直しが課題となりました。そして 1996 年、法制審議会^{※1}は選択的夫婦別姓の導入を答申しました。しかし、「家族の一体感が損なわれる」などの声もあって、国会での議論は進んでいません。

井田さんは自身の再婚に際して、改姓の問題にぶち当たりました。そのときの苦勞を踏まえて、2018 年に選択的夫婦別姓の制度導入を求める活動を始めました。「始めたときは、もっと簡単に変わると思っていたんです。なぜなら、この話をするとなんかいい人が賛同してくれたので。でも、政治が動かない」。自治体への陳情を続けるうち、制度導入に反対する人々からの誹謗中傷^{ひぼう}が激しくなり、会社を辞めざるを得なくなったそうです。

それでも井田さんはあきらめていません。「制度を待ち望んでいる人がいるという責任感からです。今年 2 月に亡くなった『均等法^{※2}の母』とも称される赤松良子さんに、『毎日人に会いなさい。法律を作るときは不完全でもいいから、とにかく作ること』という助言をいただきました。先輩方からも、後輩たちからも期待されている制度ですから、恐れずに向かっていきたい」

法律で夫婦同姓を義務づけている国は日本以外にないとされます。旧姓使用が広がってきたとはいえ、経済がグローバルになるなかで旧姓使用では限界があるとして、経団連^{※3}など経済界から選択的夫婦別姓の実現を求める声が高まっています。

読売新聞の2022年の世論調査でも、「法律を改正して、夫婦別姓を認めるべきだ」という質問に、賛成20%、どちらかといえば賛成39%、どちらかといえば反対が26%、反対が13%で、賛成が反対を上回っています。女性の社会進出、人口減、デジタル化など、この間の社会の変化は大きく、家族や姓のあり方も未来を見据えて考える時期に来ていると言えるでしょう。

「はて？」と、私たちが日常生活の中で抱く違和感の正体は何なのか。突き詰めれば、自分ひとりの問題でも家族の問題でもなく、社会の問題である可能性があります。自分の抱く違和感を大切にしながら、世の中と向き合っていこうと思うのでした。

(小坂佳子『朝ドラ「虎に翼」から100年消えない女性たちの「はて？」の正体』、読売新聞オンライン、2024年5月16日付、<https://www.yomiuri.co.jp/otekomachi/20240515-OYT8T50019/>)より、一部改変)

注1 法務大臣の諮問に応じて、民事法、刑事法その他法務に関する基本的な事項を調査審議することを目的としている機関

注2 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律の略称

注3 一般社団法人日本経済団体連合会の略称

問1 日本における選択的夫婦別姓の制度導入をめぐる動きや国民の意識について、本文の内容に即しながら200字以上250字以内で説明しなさい。

問2 私たちが日常生活の中で抱く違和感の正体について、下線部「自分ひとりの問題でも家族の問題でもなく、社会の問題である可能性」と述べられているが、これはどのような意味か、具体的な事例を示しながら、400字以上600字以内で説明しなさい。